

スピリット
常中魂

平成29年 3月14日 NO.76

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116
FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

涙と充実の卒業式

素晴らしい卒業式であった。生徒の合唱はここ数年で向上してきている。
送辞、答辞をノー原稿で(行うという)堂々とした発表であった。式後、生徒による先生方へのメッセージは感動的で多くの生徒や教師たちが感涙にむせた。三年間の指導の結晶が表現されたような卒業式であった。
……。(看護日誌より)

うちの子が、「常中の生活」を書き続けることができたのは、担任の〇〇先生のおかげです。家で私たち(親)が、叱つたときにムシャクシャした気持ちを書いても、先生はうるさくさらず、さちつと受け止めていて下さいました。先生のコメントを見せてもらったのですが、そのことがコメントから伝わってきました。本当にお世話になりました。(卒業後の立ち話より)
今年度の卒業生たちの合い言葉は「何にでも、全力投球」その言葉どおり「全力投球」の卒業式でした。
ノー原稿で自らの思いを語り、大きな声で校歌を歌い、姿勢正しく、集団力をもって式に臨む。そして、感謝の心を忘れない。そんな常中魂を後輩に示してくれました。卒業生たちに改めて感謝します。このような心の育成は、保護者の皆様のご理解と、ご協力の賜です。ご理解・ご協力ありがとうございました。



卒業生の見事な態度「これぞ常中魂！」



『息』そして『息流』 (校長式辞)



ノー原稿で送辞を述べる生徒会長高橋さん



同じく、ノー原稿で答辞を述べる卒業生田村さん

素晴らしい卒業式であった。生徒の合唱はここ数年で向上してきている。送辞、答辞をノー原稿で堂々とした発表であった。式後の生徒による先生方へのメッセージは感動的で多くの生徒や教師が感涙にむせた。三年間の指導の結晶が表現されたような卒業式であった。今後、自らの経験を後輩に伝え、教師としての指導実践していくことの大切さを痛感させられた。式ではあるが、

今回の卒業式は、3年生の今年度の学業の集大成であったと言える。おはらいの式は久しぶり。3年の先生方、おかげさうございませう。各準備に携わった先生方、お疲れ様でした。



